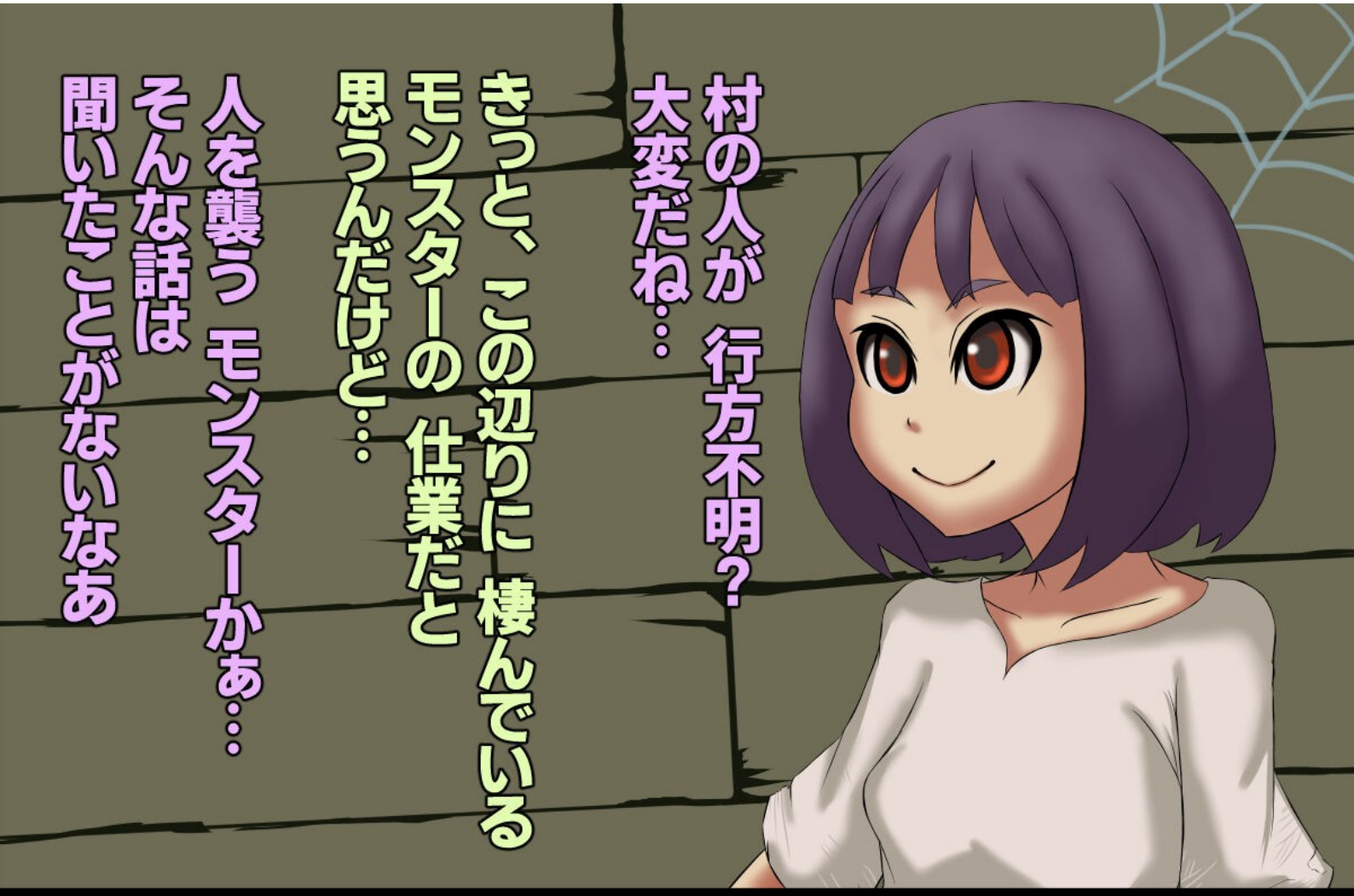
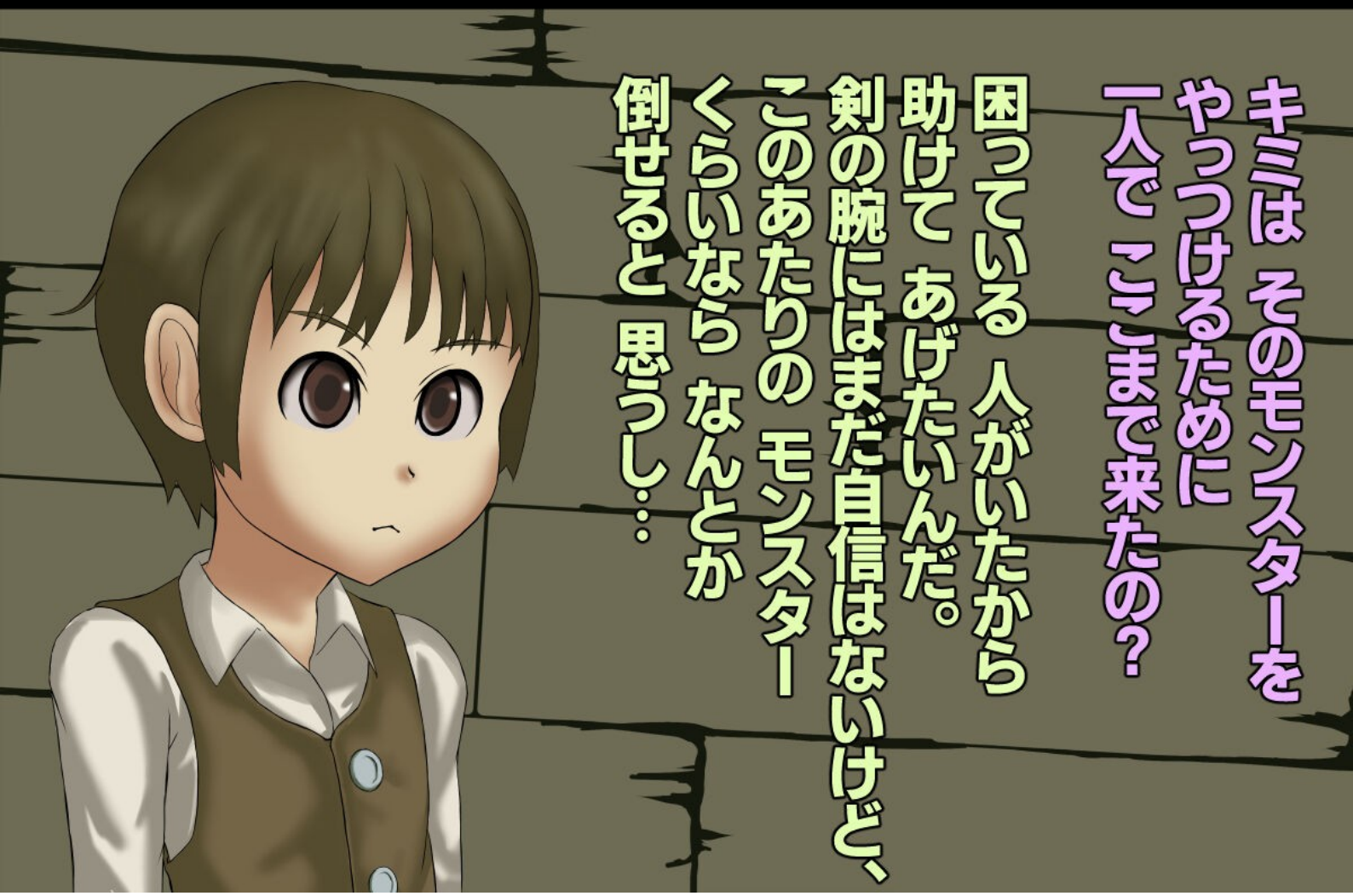
この森の奥に 進んでいった 村の人間が何人も
行方不明 になって いるんです。
村の人間は 不安になって 誰も森に近づかなく なっています。
冒険者の方 どうか 助けてください。

冒険の途中に 立ち寄った村で そんな話を聞いた僕は、
村の人を 助けるために 森の奥を 探索してみることにした。
森は奥に 進むたび 周囲が薄暗く なっていったが、
モンスターとは出くわすことはなく
何も 手掛かりを つかめずにいた。

日が 暮れてきたので 一度村に帰ろうかと
迷っていたところ 一軒の家を見つけた。


村の人が 行方不明？
大変だね…
きっと、この辺りに 棲んでいる
モンスターの 仕業だと
思うんだけど…
人を襲う モンスターかぁ…
そんな話は
聞いたことがないなあ

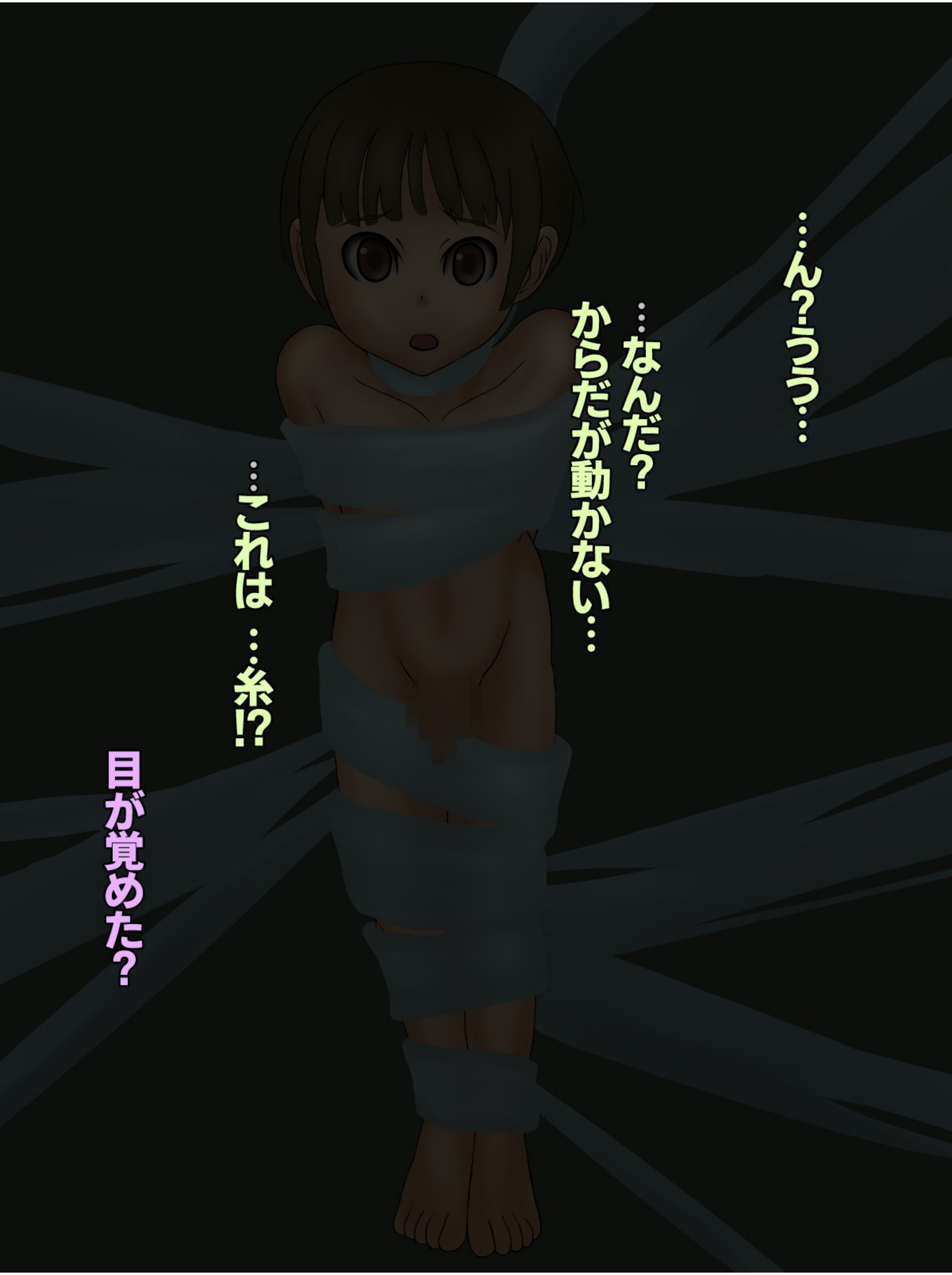

キミは そのモンスターを
やっつけるために
一人で ここまで来たの？
困っている 人がいたから
助けて あげたいんだ。
剣の腕にはまだ自信はないけど、
このあたりの モンスター
くらいなら なんとか
倒せると 思うし…

私と変わらない くらいの
大きさ なのに偉いね
協力できることがあれば
何でも 言って！
そうだ！
外ももう 暗いし、
今日は ここに
泊まっていきなよ！

本当にいいの？
もちろん！
ずっと 一人で 寂しかったんだ
さ！ ボロボロの 家だけど
くつろいでいって！

この夜は この娘の家で 過ごすことになった。
女の子は 久々に 人と話したのが うれしかったのか
とても楽しそうに 世話を焼いてくれた。
この娘が 安全に暮らすためにも、
明日は もっと頑張って 森を探索しよう…

そう思って今日は寝ることにした。


…ん？うう…
…なんだ？
からだが動かない…
…これは…糸!?
目が覚めた？

この糸は 一体？
…私の糸だよ
え？
村の人や 旅人さんを 捕まえてたのは 私なんだよ
いつもは すぐにグルグル 巻きにするんだけど、
君は冒険者さんだし 寝込みを襲ってみたんだ…

！まさか 僕が探していた モンスターって…
…ねぇ そんなことより
こっちを見て…
…ほら
…エッチな気持ちになってこない？
ううう 変な冗談はやめてよぉ…

冗談 なんかじゃ ないよ
ほら… お○んちんに 湿った糸を
絡めて 弄んであげるね
う、ああ
ねばねばの糸 気持ちいでしょ…
君を縛っている糸とは 別物だよ…
しこ
しこ
しこ

はう… どうして… 糸 なんて…
君は…どう見ても…人間にしか…みえ…ない…のに…
知りたい？
…いいよ 私の友達紹介してあげるね…

私の お友達だよ
私の中に 住んでるんだ…
!?
最初の子は 私と同じで 一人だったんだけど…
今はこんなに賑やかなんだよ
ぐぱぁ

この子たちの 考えてることは ぜ〜んぶ分かるんだよ…
今はねー 君のせーしが 欲しいいって…
それって… まさか… クモと…
…いいやだ… 離して…
そんなに 嫌がること ないでしょー
この子たちも 全員 女の子 なんだから
傷ついちゃうよ… もー

君のお○んちん 限界なのはわかってるんだから
ほらぁ 出して… お・ね・が・い♡
いっ… やぁ…
う…あああああ…

君のお○んちん 限界なのはわかってるんだから
ほらぁ 出して… お・ね・が・い♡
いっ… やぁ…
う…あああああ…
ドク
ドク

さあ 次は 下の子たちに ちょうだい…
やだよ 初めてがこんな…
私の中 人間の粘膜と
クモの糸が
ぎゅう って絡まって
とろとろに
なっちゃうんだから！
…ほら
入っちゃったよ
うう… ああ

うう… ふあぁ…
ふふっ… こんなにたくさんの
女の子と 交われるなんて
他にはない ハーレムでしょ？
この幸せ者っ
こんな…ちが…あ…
…ん…うう

頑張って 我慢してるんだ…
いいよ 我慢をしてくれた方が
いっぱい出るもんね
ん…ん…ん…
うぅっ…ああ…

あ…ああ…
……もう だめ…
ほら 出して…
君のせーし
みんなで受け止めて
あげるからぁ♡
あああああああぁぁぁ
ギ
ウ
ウ
ゥゥ

あ…ああ…
……もう だめ…
ほら 出して…
君のせーし
みんなで受け止めて
あげるからぁ♡
あああああああぁぁぁ
ドクドク

いっぱい出してくれたね お疲れ様…
さて…君には もう一つ仕事があるの…

……？

この子たちが 子供を作るには とっても体力が必要なんだ…
だ・か・ら
…キミの体を栄養にさせて♡

そ… れって…

怖がらなくてもいいよ クモに 食べられるって
とっても 気持ちがいいんだ…
体に 消化液を 流してもらって ドロドロってなるの…

いやだっ！ お願い助けて！

ふふ… 泣いてもだめだよ
この子たち おなかペコペコだもん

…じゃあ…君の体に 溶解液を 流し込むね…
これが 全身に 回ると
どろどろって とっても 気持ちよく なれるから
かぷっ

う…あああああああ
ドクンドクン
わかるでしょ？
ドクンドクンって 液が体を 溶かして まわってるのが…
このまま ゆっくり 全身に 広がっていくよ…

液が まわってきたかな？
とっても 恍惚とした 表情になってるよ
ドクン
ドクン
あはは おもらししてるね… 恥ずかしがらなくていいよ
消化液が 体をまわって 体が マヒしてきた 証拠だから…

……
そろそろかな？
キミの中は 今 体の細胞や お肉が 溶けて 混ざり合って
ドロドロの スープみたいに なってるんだよ…
まるで さなぎさん みたいだね
それじゃあ キミの 生命の スープ 吸わせてもらうね…

んあああああああああ…
ちゅうぅぅぅぅ
…体を 吸われるのって 最高に 気持ちがいいでしょ？
このまま干からびるまで 吸い尽くして あげるね…
意識は 最期の方まで 残るから しっかり堪能していって…

えへへ 君のこと とってもおいしいって
中の みんなが 言ってるよ…
君のからだ ほとんど なくなっちゃったね…
時々 ぴくぴっくって 痙攣して くすぐったい…
もうすぐ 君の冒険も 終わりかな…

！！！
ガクガクガク

……

からっぽになっちゃたね…
ごちそうさま♡